

輝け！シン尾花沢中

第 1 1 3 号

令和 8 年

10 月 2 日

つたえゆかしい 校章よ おおむつましく 丘かげに

地域に元気を！～「絆」リレーマラソン交流大会～

9 月 27 日（日）、北村山高校で第 3 回絆リレーマラソン交流会が開催されました。この大会は、障がいの有無を問わず、世代間交流を通じて、①支え合う社会の実現、②体力向上、③地域の活性化、を目的に行われているもので、3 年目を迎えました。

参加した尾中生の感想を紹介します。



石川さん（3 年）：僕が走っているときも、違うチームの人たちが応援してくれて、地域の方々のあたたかさを感じました。自分としては「楽しめればいい」という思いで参加しましたが、皆さんと笑える空間に一緒にいることができたことを幸せに感じました。

笹原さん（3 年）：「楽しみたい」「挑戦してみたい！」という思いで参加しました。チームの人数が少なく、すぐに順番が回ってきて大変でもありました。チームメイトが疲れていたなら、代わりに走るなど協力して完走できたので良かったです。

青木さん（2 年）：僕は 1 キロのコースを 3 分 5 秒くらいで走りました。僕のチームは、他の中学生の友達と一緒に走り、見事優勝することができて良かったです。また、こういう大会を開催してほしいです。今後も長距離でいい結果を出すことができるように頑張ります。

伊藤さん（2 年）：「クラブの仲間との仲を深めたい」と思い、この大会に参加しました。はじめは少し緊張しましたが、仲間や地域の方々と交流を深めることができ、とてもうれしかったです。今後もこのような大会やイベントに積極的に参加していきたいです。

渡辺さん（2 年）：地域の方々が応援してくれてうれしかったし、地域の方々と交流できて楽しかったです。そして、みんなで応援しながら走り切ることもできて良かったです。

鈴木さん（1 年）：たとえ、障がいがあっても皆と同じように走ることができる大会に参加して交流をもつことができて良かったです。100 分間の長さを 1 人で走り切ることは難しいけれど、互いに支え合うことで走り切ることができるということを学びました。これからも、このような大会に積極的に参加していきます。

古瀬さん（1 年）：6 人だと走る順番がすぐにまわってきて、全然休むことができませんでした。でも、その 6 人で支え合い、109 ポイントを獲得できたことは「すごい！」と自分でも思いました。来年はもっと仲間を集めて参加し、1、2 位をねらいたいです。

尾中生の走りは、周囲を大いに盛り上げるものとなりました。

出場した 8 名の皆さん、お疲れさまでした。 【文責：校長 工藤雅史】



力走る佐藤彪叶さん（2 年）